



岩沼市の沿岸部には6つの地区がありました。津波の被害を受け、住民は沿岸から約3km離れた場所に防災集団移転しました。千年希望の丘は、人が住めなくなった土地を活用したメモリアル公園で、沿岸部約10kmにわたり6つの公園と14基の避難丘(うち2基は既存丘)が整備されています。丘と丘を園路(緑の堤防)でつなぐことで津波の威力を弱くさせ、万が一の時の避難場所としての役割を担っています。

交流センターでは、被害や復興状況の写真、パネル80点を展示するほか、外国人にも学んでほしいと、多言語の防災学習用動画を上映。震災語り部ガイド(有料、要予約)と巡る見学では、メモリアル公園内の慰霊碑、避難丘、震災遺構などを見ながら、震災当時の様子や復興への取り組みなどを聞き、震災の記憶や教訓を学べます。4〜6月には、植樹体験(有料、要予約)も実施しています。

震災と復興の状況を記録した写真やパネルを常時展示している。千年希望の丘事業構想や丘の機能なども、わかりやすく解説。各種パンフレットなどの提供や、希望の丘グッズの販売もあり



震災語り部ガイドによる現地見学を実施(④ガイド1人3000円、ガイド1人につき5〜20人まで対応可。滞在時間に合わせて案内※要予約)。交流センターなどがある相野釜(あいのかま)公園内を案内してくれる



震災の記録・記憶の伝承と防災教育、植樹・育樹などの環境保全活動の拠点となる交流センター。ウォークスルービデオでは震災前の集落の移動を仮想体験でき、津波で失われた景観を感じることができる

考えてみよう

Q1 園内の丘は、何を土台に造られているでしょうか？ 人々が暮らしてきた証であり、津波の痕跡や被災者の想いを後世に伝える物を使っています。

Q2 相野釜公園に建てられたモニュメント(慰霊碑)の形や高さには、どんな意味が込められているでしょうか？

A1 震災がれき。岩沼全体の約90%にあたる震災がれきが使われた。

A2 人と人が支え合う形を表している。またモニュメントの高さは8m。同地区に押し寄せた津波高を示している。

岩沼市

●いわぬましせんねんきぼうのおかこうりゆうせんたー

教訓を生かして造った14基の人工丘

岩沼市の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	29km ²
最大浸水深	10.5m
全壊	736棟
半壊	1,606棟
一部損壊	3,086棟
死者	186人
行方不明者	1人
負傷者	293人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示
交流拠点

施設ガイド 語り部あり
※要予約
車椅子OK

施設DATA

●いわぬましせんねんきぼうのおかこうりゆうせんたー
岩沼市千年希望の丘交流センター

☎ 0223-23-8577 MAP P115C4

④ 岩沼市下野郷字浜177
⑤ 仙台台東道路仙台空港ICから車で7分
⑥ 9〜17時
⑦ 火曜(祝日の場合は翌日)
⑧ 無料
⑨ あり(大型バス:あり)
<https://sennen-kibouno-oka.com>

